

オリジナルのプランターを作ろう

広野小学校の6年生は、9月27日、株式会社正木屋材木店の大平 宏之氏・祐子氏（いわき市）の指導を受けながら国産杉材を利用してプランター制作に取り組みました。

木工教室は、森林環境税に伴う森林環境交付金事業として毎年行われています。



▲アドバイスをを受けながら制作する児童



▲多くの方で賑わいをみせた復興市

ひろの復興市

「元気です！広野復興プロジェクト」は、10月14日、ひろの童謡まつりと合わせ中央体育館前駐車場でひろの復興市Vol. 2を開催しました。復興市には、広野産野菜や北海道、岐阜県産の野菜、静岡県産のお茶、干物、町内産の野菜、「心ひとつに 広野町」と書かれたバッジを販売。

多くの町民のみなさんの来場があり、買い物を楽しみました。



▲岐阜の野菜



▲アクリルたわし販売



▲広野産野菜



▲宮崎産の地鶏（真空パック）



▲静岡県伊東市からの干物



▲静岡県伊東市からのお茶

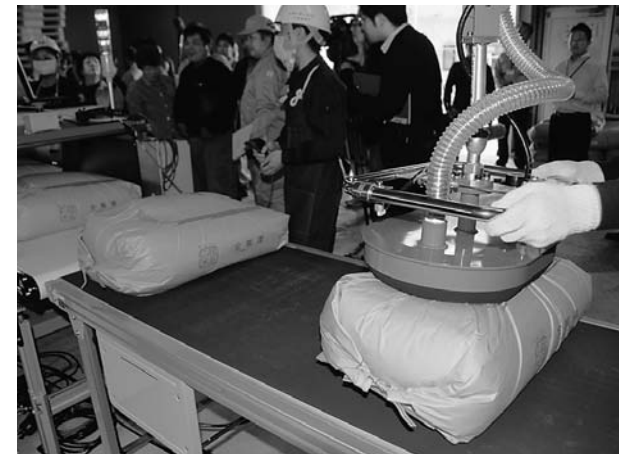


郡内で初めて全袋検査を実施

町では、10月9日から町内39カ所、約4ヘクタールの実証田で栽培された平成24年産米および町民が水田管理計画のもとで栽培、収穫した米の全袋検査を開始しました。初日は、160袋の米が運び込まれ、検査員がベルトコンベヤー式の検査機器に1袋ずつ通し測定しました。

一部基準値を超えた米がありました。稲すり機内部のほこりなどに高濃度セシウムが含まれ、作業時に混入した可能性が考えられることから、玄米の洗浄試験を実施し、汚染原因を究明します。

全袋検査は、10月中には完了し、結果をもとに11月中には平成25年産米の作付けについて方向性を示します。



▲双葉郡内で初めて行われた広野町のコメの全袋検査

長寿を祝福

平成24年度広野町敬老会が9月25日、中央体育館で開かれました。

式では、結婚50年を迎えた10組の夫婦に町と福島民報社から金婚夫婦記念品が贈られました。また、町内最高齢者である鯨岡ヤスさん（下浅見川）に広野町社会福祉協議会と広野町老人クラブより記念品が手渡され、長寿を祝福しました。

高齢者を代表して、広野町老人クラブ連合会の 大和田高男会長が謝辞を述べ、感謝の意を表しました。



▲代表謝辞を述べる広野町老人クラブ連合会会長



▲秋季検閲の様子

秋季検閲式

消防団・婦人消防隊秋季検閲式は9月30日、中央体育館で開かれました。式では、団員・隊員により通常点検が行われ、日頃の訓練の成果を披露しました。